

## 「海の命」 定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第1段落・5行目) 「子どものころから、太一はこう言っ  
てはばからなかった。」と書いてありますが、「はばかる」の意味  
として正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：あきらめる
- イ：えんりよする
- ウ：こわがる
- エ：だまる

問2 (第2段落・6行目) 「父はもぐり漁師だった」と書いてあり  
ますが、父の仕事の内容がわかる一文を本文からぬき出して、  
はじめの5字を答えましょう。



問3 太一の父が「海」と「漁」に対してもっている思いとして正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：魚が取れる日もあれば取れない日もある、運だめしを楽しむような思い
- イ：自分の腕ならば、その気になればたくさん魚をとることができるという思い
- ウ：自然の海には、人間の自分など、とうてい敵わないとあきらめる思い
- エ：魚は海があたえてくれるものであり、自分は海に生かされているという思い

問4 (第4段落・2行目) 「ある日、父は、夕方になっても帰らなかった。」と書いてありますが、その理由としてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：潮の流れが速かったので、船まで戻るができなかった
- イ：潮の流れのせいでロープが体に巻きついてしまい、泳ぐことができなかった
- ウ：大きなクエをとろうとしたが、引くことができず海面に戻れなかった
- エ：瀬の主に「もり」をつきさしてしまい、おそわれてしまった



問5 (第4段落・4行目) 「水の中でこときれていた」と書かれています。この「こときれていた」の意味を本文から探し、そのままぬき出して答えましょう。

問6 (第4段落・4行目) 「光る緑色の目をしたクエ」と書かれています。このクエを別の言い方であらわしたものを2つ、それぞれ15文字以内で本文からぬき出して答えましょう。

問7 (第9段落・13行目) 「千びきに一ぴきでいいんだ。千びきいるうち一ぴきをつれば、ずっとこの海で生きていけるよ。」と与吉じいさは語っていますが、これは与吉じいさの「海」と「漁」に対するどんな思いが込められていますか。次の中から選び○でかこみましょう。

ア：海には魚がたくさんいるので、そのうちの何びきかでも食べるのには十分だという思い

イ：むやみに魚をとりすぎないようにすれば、海とともに生きていけるという思い

ウ：根気良く釣りをしていれば、海は自分達人間にめぐみを与えてくれるという思い

エ：千びきのうち一ぴきでも釣る技術を身につければ、この海で漁師として生きていけるという思い



問8 与吉じいさの「海」と「漁」に対する思いが表れている行動を、本文からぬき出して23字で答えましょう。

問9 (第13段落・12行目)「おかげさまでぼくも海で生きられます。」という太一の言葉には、どのような思いが込められていますか。次の中から選び○でかこみましょう。

ア：必要以上に魚をとらなければ、海とともに生きていけるという教えを守ろうという思い

イ：村一番の漁師に育て上げてもらい、魚をとる技術なら誰にも負けないという自信にあふれる思い

ウ：大好きだった父と、お世話になった与吉じいさと同じように、自分も海で生きるべきという強い決意

エ：父を亡くした海を嫌いになりそうだったが、与吉じいさの教えを胸に漁師として生きていこうという強い決意



## 「海の命」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 イ

問2 潮の流れが

【解説】ぬき出す一文は、「潮の流れが速くて、だれにももぐれない瀬に、たった一人でもぐっては、岩かげにひそむクエをついてきた。」

問3 エ

【解説】

父の言葉の「海のめぐみだからなあ。」から、たとえ大物をしとめても、それは「海があたえてくれたもの」であると父が考えていることがわかる。



## 問4 ウ

【解説】ア・・・潮の流れが速いことは書かれているが、そのせいで船まで戻ることができなかったということは書かれていない。

イ・・・ロープが体に巻かれていたが、それが潮の流れのせいだということは書かれていない。

エ・・・瀬の主（クエ）が父をおそったかどうかが分かることは書かれていない。

クエに「もり」がつきさされていたことから、父がクエをとろうとしたこと、仲間の漁師が何人がかりで引こうとしても全く動かないと書かれているので、ウがもっとも正しい。

## 問5 死んだ

- 問6
- ・父のもりを体につきさした瀬の主
  - ・まるで岩のような魚

## 問7 イ



問8 毎日タイを二十ぴきとると、もう道具を片付けた。

【解説】与吉じいさは、「海」と「漁」に対して、人間が必要以上に魚をとらないでいけば、海とともに生きていけると考えている。

なので、毎日タイを二十ぴきとると、「これ以上はとらないようにしよう」と道具を片付けてしまうことがわかる。

問9 ア

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

